

くにみ 議会だより

KUNIMI

No.198

6月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



花の品質にこだわって営む

武田花店(株)神武 代表 市川圭人さん(石母田)は、昭和34年から桑折町で生花業を営んできた祖母の意思を継いできました。今は毎日、「道の駅国見あつかしの郷」に出荷しています。花卉の栽培も手掛け、花への愛情は人一倍です。

仕事の傍らお祭りの太鼓や笛を指導、自ら剣の舞を踊ったり伝統芸能の継承にも努めています。

6月定例会

新体制で新たにスタート
(議会組織構成決まる)

P2

福島県沖地震被害世帯への減免措置の継続は(条例改正)

令和5年度一般会計補正予算 P5

一般質問(くにみ学園構想についてなど6人が登壇) P7

私もひと言 P16

新体制で新たにスタート

議長 佐藤定男議員 副議長 山崎健吉議員

議会改選後の初議会は、6月27日から7月7日までの11日間の会期で開かれ、議長、副議長や常任委員会の委員などが決定しました。

また、動産の取得(消防ポンプ自動車1台)や新型コロナウイルスワクチン接種、町道2046号線改良舗装工事等の補正予算など24議案が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。

最終日には一般質問が行われ、6人の議員が登壇し町政を質しました。



佐藤 定男 議長

皆様には、日頃から町政に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

議会改選により、6月27日に新メンバーによる初議会が開催され議長に就任いたしました。今回の改選の結果、議員12人のうち8人が1期・2期目というフレッシュな顔ぶれです。議会の使命である「政策の最終決定」と「行財政の批判とチェック」を肝に銘じ町民の負託に応えていこうと思えます。

議会改革も進めていく必

要があります。

具体的には、議長・副議長、各常任委員会の任期を基本的に4年から2年に変更し活性化を図ります。また、町民参加の観点から「議会モニター制」を設置し町民の意見・考えを反映させていきます。

町は今、様々な課題を抱えています。過疎町指定のもと、いかに住み心地がよく安心して暮らせる町をつ



山崎 健吉 副議長

くっていくか、町と議員がみんなで見守りを出し合って解決に向けて全力で取り組んで参ります。

皆様の一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

町議会改選後、6月27日に初議会が開催され、満場一致で副議長の要職に就任しました。同時に任務の重さを強く感じているところです。

当町は現在、高規格救急車問題や、くにみ学園構想等、皆様にも大きく関わる問題が、山積しております。これらの問題等を、町民の皆さんと共有し、議会と行政の「見える化」を図るために、議会改革推進会議を立ち上げ、町民参加のモニター制度の設置や、議会の通年会期制の導入等、検討してまいります。

皆様方の一層のご指導をお願い申し上げます。

議会議員紹介

任期：令和5年6月19日～令和9年6月18日

※議席番号順



佐藤 多真恵(議席番号1)

住所／大字石母田字上野72番地2
当選期数／1期



菊地 勝芳(議席番号2)

住所／大字石母田字唐松25番地
当選期数／1期



佐藤 孝(議席番号3)

住所／大字藤田字天王畑一8番地
当選期数／2期



蒲倉 孝(議席番号5)

住所／板橋南1番地6
当選期数／2期



八巻 喜治郎(議席番号6)

住所／大字徳江字館10番地
当選期数／2期



穴戸 武志(議席番号7)

住所／大字森山字沖23番地
当選期数／2期



山崎 健吉(議席番号8)

住所／大字藤田字北77番地
当選期数／2期



小林 聖治(議席番号10)

住所／大字西大枝字中屋敷11番地
当選期数／2期



渡辺 勝弘(議席番号11)

住所／大字藤田字中沢一10番地3
当選期数／5期



松浦 常雄(議席番号12)

住所／大字西大枝字並柳28番地
当選期数／5期



浅野 富男(議席番号13)

住所／大字大木戸字六角63番地
当選期数／7期



佐藤 定男(議席番号14)

住所／大字泉田字川端3番地2
当選期数／4期

議会組織構成決まる



産業建設常任委員会



総務文教常任委員会

6月27日に初議会を開催し、議長、副議長選挙や各常任委員会委員の選任などが行われ、議会の組織構成が決まりました。

産業建設常任委員会
 委員長 佐藤 孝
 副委員長 穴戸 武志
 委員 浅野 定男
 委員 八巻喜治郎
 委員 佐藤多真恵

総務文教常任委員会
 委員長 小林 聖治
 副委員長 菊地 勝芳
 委員 山崎 健吉
 委員 松浦 常雄
 委員 渡辺 勝弘
 委員 蒲倉 孝

議会改革推進会議
 会長 山崎 健吉
 副会長 穴戸 武志
 全議員

議会運営委員会
 委員長 松浦 常雄
 副委員長 小林 聖治
 委員 穴戸 武志
 委員 蒲倉 孝
 委員 佐藤 孝

広報常任委員会
 (総務文教・産業建設常任委員が兼任する。任期は6月19日より2年)
 委員長 蒲倉 孝
 副委員長 佐藤多真恵
 委員 佐藤 定男
 委員 松浦 常雄
 委員 佐藤 孝
 委員 菊地 勝芳

伊達地方消防組合議会議員
 小林 聖治
 菊地 勝芳

福島地方水道用水供給企業団議会議員
 佐藤 定男

伊達地方衛生処理組合議会議員
 渡辺 勝弘
 穴戸 武志

公立藤田病院組合議会議員
 佐藤 定男
 山崎 健吉
 八巻喜治郎
 蒲倉 孝

一部事務組合議会

条例改正

福島県沖地震被害世帯への減免措置を継続

東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税、国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 福島第1原発事故に伴う避難者の国保税及び介護保険料についての減免措置を、令和5年度課税分までを延長するものです。

質疑

問 (佐藤 孝議員)
2年連続の大規模地震被害の復旧は途上であり、半壊以上世帯の減免継続も検討すべきではないか。

ほけん 今後、検討する。
課長

(全員賛成で可決)

階的引き上げで対応する。

(全員賛成で可決)

国見町営住宅条例の一部を改正する条例

県内統一税率への備えは何か

国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(要旨) 後期高齢者支援金課税限度額などを変更するものです。

質疑

問 (佐藤 孝議員)
令和11年度から国保税率は県内統一になり、町の税率は現状より0.5%程度高くなるが中期的対策はあるか。

ほけん 激変緩和に備える国保財政調整基金の積立て、税率の段

整基金の積立て、税率の段

(要旨) 北古館町営住宅の管理戸数を30から28に変更するものです。

(全員賛成で可決)

一般議案

動産の取得について

(要旨) C・D・I型消防ポンプ車一式を購入し、町消防団第4分団に配置するものです。

(全員賛成で可決)



今回配置される車両と同型の消防ポンプ車

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルスワクチン接種費用2138万円等を計上

令和5年度一般会計補正予算(第3号)は、5344万円を増額し、予算総額6億1613万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な増額は、新型コロナウイルスワクチン秋開始接

種2138万円、町道20	種2138万円、町道20
46号改良舗装工事等17	46号改良舗装工事等17
75万円、消防団防火服購	75万円、消防団防火服購
入525万円などによるも	入525万円などによるも
ので、その財源はおもに補	ので、その財源はおもに補
助金や町債(借金)でまか	助金や町債(借金)でまか
ないます。	ないます。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)の主な内容

【主な事業】

- 役場庁舎非常用発電設備、中央監視装置等補修 415万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 2138万円
- 霜被害対策に係る農業等災害対策補助金 30万円
- 町道改良舗装工事、移転補償金 1775万円
- 消防団用防火服購入 525万円
- 総合型地域スポーツクラブ事業 132万円
- 給食センター機器、設備修繕料 100万円
- その他(国庫返還金、負担金、予算組み替え等) 229万円

【主な財源】

- 国県支出金 3235万円
- 地方債 680万円
- その他 86万円
- 一般財源 1343万円

人

事

農業委員会委員の任命に同意

任期満了により、次の8名の任命に同意しました。任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年です。

- 佐藤 武氏 (再任)
- 佐久間 久子氏 (再任)
- 吉田 和男氏 (新任)
- 赤坂 正弘氏 (再任)
- 佐藤 昭文氏 (新任)
- 佐藤 浩信氏 (再任)
- 八島 富一氏 (再任)
- 斎藤 勇子氏 (新任)

監査委員に穴戸武志議員



任期満了により、議会選出の監査委員に穴戸武志議員が選出され、同意されました。任期は議員の任期と同じ4年です。

みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求めることについて	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸禎子	採択
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋誠一	採択

※議長は採決に参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・就学支援が保障されるよう、令和6年度においても全額国費による「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と十分な就学支援に必要な予算確保を国へ要望するため。

可決
(全員賛成)

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、地域活性化、環境対策、防災・減災や災害復旧あるいは行政のデジタル化など多岐にわたる役割が求められており、令和6年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、地方財政の確立を目指すために必要な対応を求めるもの。

可決
(全員賛成)

～6人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般
質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
山崎 健吉	保育料の全ての世帯での完全無償化について	8
	高齢者と若年層の健康について	
宍戸 武志	当町における危機管理とコンプライアンスの遵守について	9
松浦 常雄	「くにみ学園構想」について	10
蒲倉 孝	官民共創コンソーシアムについて	11
	くにみ学園構想について	
	国見農業振興地域整備計画について	
小林 聖治	ふるさと納税について	12
	企業版ふるさと納税により取得した高規格救急自動車について	
	新型コロナ対策について	
佐藤 孝	高規格救急自動車研究開発等事業について	13

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 保育料を全ての世帯での完全無償化に

A 国が補助する制度を作れば、保護者の意見を踏まえ検討したい



山崎健吉議員

問 保育料の徴収基準について伺う。

教育総務課長 藤田保育所

は、世帯の市町村民税所得割の合計額で10段階に区分している。第1階層は生活保護法による非保護世帯、第2階層は市町村民税非課

税世帯で無料としている。第3階層以上は市町村民税所得割の額によって保育料を定めている。

問 一定以上の収入があれば、ひとり親でも徴収の対象となると言う事か伺う。

教育総務課長 ひとり親世帯で、市町村民税所得割課税額が7万7100円以上を超える場合は有料となる。

問 一定額以上の収入があれば、該当しないということだが、ある市町村では、出産後に、乳児の世話のためにベビーマスターの派遣制度もある



楽しく遊ぶ幼児

が、子育て支援を図るひとつの対策としてはどうか伺う。

教育総務課長 当町では、一時預かり保育事業も行っている。

問 今後、国は給食費の無償化を検討しているが、当町はいち早く保育料の全世帯での完全無償化を行い、子育てに適した町とすれば、定住や移住に弾みがつくと思うが伺う。

町長 当町は、近隣の市町村に先駆け、給食費の無償化を実施している。一般財源を活用しているため、国が補助する制度を作れば、保護者の意見を踏まえ検討したい。

高齢者と若年層の健康は

問 当町の総合検診の受診者数に

ついて伺う。

ほけん課長 令和4年度の40歳以上の国民健康保険者の受診率は1693人に対し51%。今年度については、1665人に対し47%となっている。今年度は、春に検診が出来なかった方を対象に秋の検診を11月頃に再度、予定している。

提案

高齢者の運動不足は、医療費の問題にも直結するので、今後も食事方法なども含め、指導をお願いしたい。

問 毎年、小学5年生・中学2年生の体力向上のための全国調査を行っているが、当町の結果について伺う。

教育総務課長 令和4年度は小中学校、男女共に平均値より低い結果となった。

問 今年度の当初予算で、学力体力向上事業の目的に自校の課題を明確にするとして、何を実践するのか伺う。

教育総務課長 コロナ禍による運動制限があり意欲の低下につながった。改善策として、小中学校ともに、体力向上推進計画を作成し、持久力、敏捷性の向上に取り組むこととしている。

問 中学校の運動部の指導については、地域住民に移行を検討しているとの報道があるが、当町状況について伺う。

教育総務課長 運動部の地域移行については、部活動地域移行推進協議会を開催し、まずは休日の運動部活動について地域活動できるように進めていく。

Q 当町における危機管理とコンプライアンスの徹底について

A 役場一体となってきたちんに対応していく

問 コンプライアンス徹底のための組織の設置・委員会及び推進会議の開催、マニュアル作成、正職員および会計年度任用職員への研修を定期的に行っているか。

総務課長 各種要綱や計画に準じマニュアルを整備し、それぞれのインシデントに対応

問 地方創生では民間との連携が欠かせない。民間を律する法令や会計制度等の理解が必要だが、そのための研修は。

総務課長 対策本部を設置している。研修は内外、新人・ベテランを問わず、公務に必要な研修を随時受講させている。

問 コンプライアンス徹底に基づく当町の危機管理について見解を伺う。

総務課長 特段やっていない。研修は内外、新人・ベテランを問わず、公務に必要な研修を随時受講させている。

問 危機発生時における初期のマスコミ対応で与える印象次第でその後の報道に影響が出てくる。マスコミ対応について伺う。

総務課長 役場一体となり、コンプライアンス徹底はもとより、事業についてきちんと対応・対処していく。

問 法的あるいは手続き上問題ない、だけでは理解されない。コンプライアンスの徹底は当然である一方、社会的・倫理的責任が強く問われる。対応はできているか。

総務課長 各段やっていない。研修は内外、新人・ベテランを問わず、公務に必要な研修を随時受講させている。

問 危機管理は組織全体の課題として取り組むことが必要だ。対応はできているか。

総務課長 情報収集に努め、必要に応じ顧問弁護士と相談の上、対応している。マスコミ等の取材については真摯な対応を心掛けている。

問 危機管理は組織全体の課題として取り組むことが必要だ。対応はできているか。

総務課長 職員全体の課題として取り組んでいる。

問 民間との地方創生事業は今後も避けて通れない。危機管理とリスク管理の両立

総務課長 コンプライアンスは勿論、社会的・人的責任もしっかり認識し業務に当たっている。窓口対応についても研修を強化し、住民サービス向上に活かしている。

町長 行政への不信の一因に、法令遵守偏重による行政と町民の価値基準の乖離が考えられる。行政組織の危機管理とリスク管理に重要なことは地方公務員法第三十条（サービスの基本基準）と第三十五条（職務に専念する義務）を徹底理解することだ。

総務課長 危機発生時に対策本部を設置している。研修は内外、新人・ベテランを問わず、公務に必要な研修を随時受講させている。

問 法的あるいは手続き上問題ない、だけでは理解されない。コンプライアンスの徹底は当然である一方、社会的・倫理的責任が強く問われる。対応はできているか。

総務課長 各段やっていない。研修は内外、新人・ベテランを問わず、公務に必要な研修を随時受講させている。



中央議員 武志 戸央

問 当町に災害対策以外の危機管理に對処する組織・マニュアルはあるか。また、責任者に対する研修はどうか。

総務課長 各種マニュアルを整備している。

問 民間との地方創生事業は今後も避けて通れない。危機管理とリスク管理の両立



住民に対応する窓口の様子

Q くくみ学園の提案者、及び「学園構想」の手続きに疑問

A くくみ学園は総合計画に盛り込まれていた手続きについて説明が足りないところがあった



松浦常雄議員

問 ワンテーブル 社長がくくみ学園計画について言及している。この計画にワンテーブルの島田社長の関与はなかったのか。

教育長 島田氏の発言の真意は私どもとしては分かりかねる。ワンテーブル

は、官民共創コンソーシアム事務局として策定委員会の会議に記録のため同席していたが、委員会での発言は認めていない。

問 「くくみ学園」今年3月、教育委員会が提案したのかとの問いに対し、

は教育委員会が提案したのかとの問いに対し、

教育長は町の第6次総合計画に盛り込まれていると答えた。その後調べたところ、当初の計画には盛り込まれておらず、昨年9月1日付で計画の一部を「認定こども園と小中一貫校を一体的に整備し」と変更している。この食い違いをどのように考えているのか。

教育長 3月の全員協議会では、「くくみ学園の話を持ち出したのは誰か」との質問に対し、私が「第6次総合計画にうたっていません」と答弁した。その後、松浦議員が総合計画のど

こに記載されているか尋ねられたので、前年8月に改訂した旨を話している。

問 6次総合計画の一部変更は、議決なり報告が必要ではないか。

教育長 6次計画の基本構想は、議会の議決が必要であるが、基本計画は、町長が必要に応じて変更できると条例に規定されており、議会の議決は必要ない。議会への報告については、不足していた。

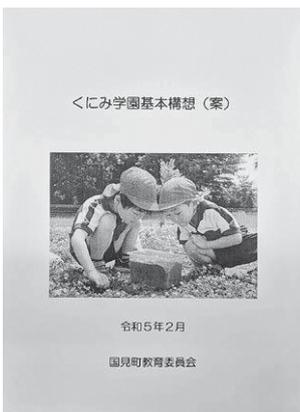
問 「くくみ学園」構想は、当初、町の総合計画になく、根拠も必然的な理由もないまま、昨年4月から準備が進められ、9月2日に第1回の「くくみ学園構想策定委員会」が開催されている。

この準備に約3カ月はかかっている。根拠がないまま人選を行い、会議前日に6次計画の一部変更が行われた。このような手続きは不自然であり、町民の理解は得られないと思うがどうか。

教育長 くくみ学園構想は、認定こども園の検討を進める中で、保幼小中の保育・教育について広く検討をすべきとの考えに至った。令和4年4月の議会定例会終了後に議員全員に説明し、その後の準備を進めた。手続きに問題はなかったと考えるが、基本構想(案)を多くの方にご理解いただかなかったのは、保護者、町民、議会への説明が

十分ではなかったと真摯に受け止めている。「くくみ学園構想」については、町民からいろいろご批判をいただいたので、その批判を真摯に受け止め、構想をいったん凍結してゼロベースから議論をしていくことにした。国見町は、少子化が加速している。「くくみ学園」を創ることが目的ではなく、これから先の子どもの環境、子育ての環境について、保護者達とゼロベースで考えていくことが必要だ。

この準備に約3カ月はかかっている。根拠がないまま人選を行い、会議前日に6次計画の一部変更が行われた。このような手続きは不自然であり、町民の理解は得られないと思うがどうか。



くくみ学園基本構想(案)

Q 官民共創コンソーシアムは、現在どのような活動または事業を行っているか

A 現在、事業は行っていない。今後は課題を解決する企業と連携していきたい

問 現在の、官民コンソーシアム事業について伺う。

課 企画調整 本年3月に事務局であったワンテールとの契約解除後、事業は行っていない。また、カプロコに参加していた13の企業・個人に対し事業の取りやめを通知

し、カプロコ自体の活動も行っていない。今後は、6次総合計画に基づき、過疎対策や移住定住対策など課題を絞り込み、解決する企業と連携をしていきたい。

問 宇都宮市に管理、保管されている救急車の寄付等の

進捗状況はどうか。

課 企画調整 伊達地方消防組合や公立藤田総合病院、川俣町、災害時応援協定等を締結している北海道二セコ町、栃木県茂木町、岐阜県池田町、交流町である岩手県平泉町に無償譲渡の打診をし、加えてウクライナへの寄付を想定し日赤福島県支部へ訪問している。6月30日に総務省から無償譲渡の法的根拠について回答があり、今後手続きを進めていく。



蒲倉 孝議員

問 高規格と説明ある救急車なの

に、なぜ医療機器を追加装備する必要があるのか伺う。



課 企画調整 搭載する医療機器は、各消防組合、消防本部などにより必要に応じて異なるため、医療器具を除いた一次機装のみ仕様となっている。

くにも学園について

問 同じ4本の柱を持つ「ひらがな」のくにみ学園と「漢字」の国見学園、何が違うのか伺う。

課 教育施設 「漢字」の国見学園は、平成26年12月にスタートした国見学園コミュニティスクールにおいて、町の教育ビジョンに基づき、目指す子ども像を共有しアクティブプランをベースとし

た教育指導により、保幼小中を一つの集合体とみなし自ら学ぶ力、豊かな心、健康な体、教材の育成に取り組みもの。「ひらがな」のくにみ学園は、策定に取り組んだ基本構想において、0歳から15歳までの繋がりを持った教育環境を総体的に「ひらがな」表記のくにみ学園と呼んでいたもの。

問 町長の公約にある「認定こども園」を急ぎ検討すべきと思うがいかがか。

町長 認定こども園をつくるということだけではなく、子育てをしている保護者の皆さんや町民の方々の意見を聞き、検討を重ねたい。

問 農業振興地域整備計画について

課 企画調整 「漢字」の国見学園は、平成26年12月にスタートした国見学園コミュニティスクールにおいて、町の教育ビジョンに基づき、目指す子ども像を共有しアクティブプランをベースとし

の報告だが、パブリックコメントありきではないか伺う。

課 産業振興 令和7年3月までに策定が必要な計画は農業振興地域整備計画ではなく、地域計画であり、期限内の策定に向け、今後事務を進める。

問 人口減少対策として住宅整備は検討しているのか。

課 産業振興 町で新たに住居を整備することも考えられるが、まずは空き家の活用を進めることが先だと考えている。

課 企画調整 今年度は、空家改修補助金・住宅取得支援を新たに実施するため準備を進め、遊休不動産の利用を促進するためインキュベーション事業・町が保有する土地の利用などにも取り組んでいる。

Q 高規格救急車の無償譲渡は、期限を決めないで、減価償却が進み、町民の財産を毀損することになるのではないか

A すみやかに譲渡できるように進めたい



小林聖治議員

おかしいのでは。

企画調整課 長 法的根拠は問題ないと考えていたが、顧問弁護士及び総務省など関係各所に確認をし、間違いないということころまで高めた上で進めるべきと考えた。

企画調整課 長 法的根拠は問題ないと考えていたが、顧問弁護士及び総務省など関係各所に確認をし、間違いないということころまで高めた上で進めるべきと考えた。

問 その弁護士に相談したのはいつ頃か。あと、法的な根拠が整理されないまま議会に提案したというのは、どういうことか。

問 高規格救急車の譲渡の現況は、その後どうなっているのか、いつ、どこに、何台譲渡できたのか。

問 支部にウクライナ等へ寄付の打診をしている。

企画調整課 長 譲渡の法的根拠の整理ができたので、関係市町村、加えて日赤

市町村、加えて日赤

企画調整課 長 動産の取得については、問題ないと理解し

問 議会が議決したのが4月7日。その時は、まだ無償譲渡の法的な整理ができていなかったということになるのだが、

ている。今回法的根拠を整理したのは、無償譲渡について問題はないかという点について関係省庁に確認したものの。

問 総務省の回答が直ちに地方財政法に抵触するとは考えにくいということだが、やがては抵触することもあり得るということか。この回答をした相手方は総務省のどの部署か。

企画調整課 長 照会は県の市町村課を通して行った。総務省の照会先は、承知していない。

企画調整課 長 照会は県の市町村課を通して行った。総務省の照会先は、承知していない。

問 県に問い合わせたのはいつか。

企画調整課 長 4月の下旬から5月のはじめ頃と記憶している。

企画調整課 長 4月の下旬から5月のはじめ頃と記憶している。

問

取得した救急車が、いつまでも保管状況にあると、日々の車価値が下がってしまうのではないかと思うが、そのことについてどう考えているのか。



宇都宮市の自動車工場で保管されている高規格救急車(河北新報5月18日付記事から引用)

企画調整課 長 長期的な保管については、経年劣化して価値が下がると思う。速やかに譲渡できるように進めたい。

企画調整課 長 長期的な保管については、経年劣化して価値が下がると思う。速やかに譲渡できるように進めたい。

問 高規格救急車の無償譲渡について、期限付きのロードマップを作成すべきと思うが。

問 高規格救急車の無償譲渡について、期限付きのロードマップを作成すべきと思うが。

企画調整課 長 相手も難しいと思うが、検討しながら進めていきたい。

企画調整課 長 相手も難しいと思うが、検討しながら進めていきたい。

※その他に小林議員が行った一般質問

●ふるさと納税について

●新型コロナウイルス対策について

Q 救急車仕様書はワンテーブルが 関与したのか

A 官民共創コンソーシアム事務局であるワンテーブルとは様々な情報交換をしていた

問 企業版ふるさと納税した3社は受注したワンテーブル及びベルリング社とは会社法の連結決算対象企業か。

課長 匿名での寄付が条件なので回答は控える。

問 住民説明会で「関係

課長 ベルリングとワンテーブルの資本関係は

ないと説明した。

問 他自治体の発注形態はほとんど競争入札だが、本事業は公募型プロポーザルだ。その理由と他自治体の実情は。

課長 機能充実に研究開発

事業なので、企画提案型の公募型プロポーザルとした。他自治体のプロポーザルの有無は確認していない。

問 研究開発事業の評価基準、到達目標はあるか。

到達目標はあるか。

課長 具体的な評価基準、数値目標は設定していない。

数値目標は設定していない。

問 高規格救急車製造の専門知識を持つ職員がいないと思うが、仕様書はどのように作成したのか。

課長 全国の消防組合など、特定の自治体や企業ではなく、それらの仕様書を組み合わせ町が作成した。

問 生命に関わる事業の仕様書を、他自治体のもを切り貼りで作成したとはビックリだ。もうひとつ、ワンテーブルから巨理町の資料提供はあるか。

課長 官民共創コンソーシアム事務局のワンテーブルから、資料として様々な情報提供があ

る。官民共創コンソーシアム事務局のワンテーブルから、資料として様々な情報提供がある。

り、それに含まれていない。

問 住民説明会で「直接的な関与はない」と回答しているが、今日の答弁は官民共創コンソーシアム事務局のワンテーブルから直接的な情報提供だという。説明会と答弁が違う。

課長 事務局のワンテーブルとは、事業を進めるため様々な情報交換をしていたが、仕様書作成で、ああしろ、こうしろとの指示はない。

問 希少金属が不足し、ほぼ製造不可能な期間で救急車12台を発注した理由はあるか。

課長 既製の車両を使用し、車両と内部の標準装備のみの研究開発事業であると考えた。

既製の車両を使用し、車両と内部の標準装備のみの研究開発事業であると考えた。

問 材料検査、中間検査がないのはなぜか。中間検査をする必要がない、検査をされると困る、つまり既にできている救急車だったのでは。

課長 既存の車両を改造していること、完成時に使用部材等が隠蔽される仕様でなく中間検査は実施していない。

問 工程表に基づく写真を提出してほしい。

課長 写真は無い。

問 ワンテーブルから飲食接待等、職員倫理規則に抵触するような不適切関係の有無を調査したか。

総務課長 不適切な関係はない。

不適切な関係はない。



佐藤 孝議員

高規格救急自動車

無償譲渡の受入れ対応継続

新聞報道等を受けて、4月に14回の住民説明会を開催し、経過の説明と質疑に対応し、その内容はすでに広報くにみでお知らせしたとおりです。

4月の第2回臨時会で、動産の取得について議決をいただいたことから、無償譲渡の法的根拠の整理について、現在、総務省に確認しているところです。その判断を受けて、伊達地方消防組合や県内の各消防本部、公立藤田総合病院及び協定締結町を優先に協議を進めます。

また、その他の消防本部等からの問い合わせも

あることから、受け入れが確定した時点で随時対応を進めていくこととします。

住民説明会で提案された第三者委員会は、5月の第3回臨時会で設置条例を議決いただいたことから、6月20日に弁護士、大学教授及び准教授の3名を委員に委嘱し、第1回の会議を開催したところです。引き続き、客観的、中立的、専門的見地から検証をお願いすることとしています。町が取り組んでいた事業で、町民皆さんにご心配をおかけしたことに、心からお詫びを申し上げます。

くにみ学園基本構想

改めて仕切り直してゼロベースから

この構想については、私が公約として掲げた認定こども園の検討を進める中で、保護者の声、幼小、小中のつながりの課題、教育施設のあり方の課題にも目を向けたときに、保幼小中の保育・教育について広く検討をすべきとの考えに至り、国見町の保育と教育が目指すべき基本理念として策定を進めてきたものです。

しかし、高規格救急自動車の件と併せて行った住民説明会では、「構想は企業側からの提案なのではないか」といった意見が出され、このことを再三説明しましたが、十分に理解をいただけませんでした。

また、「議論や説明が不足している」、「建設費用や管理費用、財源が不明」、「用地選定や跡地利用はどのようにするのか」、「一体的整備ありきなのか」といった意見が出される一方、「少子化だからこそコンパクト化の検討が必要」、「他市町村の人から国見の教育は遅れていると言われた。子どもたちのために良い教育環境を整備してほしい」、「財源は、文部科学省補助金のほか約7割が補てんされる有利な過疎債の活用もあるのではないか」といった意見も出されました。

その後、5月11日には幼小中PTA連絡協議会から「保護者の意見をしっかり聞いて進めてほしい」との要望もいただいています。

子育てや教育の環境整備の検討は、行政、保護者、町民、議会が一体となって進めるべきものと

考えます。これからの国見町の子育てと教育の理念を検討するためのたたき台としての基本構想策定に向け、策定委員会を中心に一所懸命に取り組んできましたが、今の状況は私たちが望んでいたものではありません。その要因の一つは、議論や説明が不足していたことと真摯に受け止めています。

このため町は、このままくにみ学園基本構想を基にした整備計画を進めていくことは困難と判断し、基本構想は中間報告をもって一つの区切りとすることとしました。

しかし、国見町の少子化が加速しているからこそ、また、子どもは国見の大事な宝との認識を持っているからこそ、私たちの大事な子どもと教育現場の課題、子育て環境、子育て施策、さらには公共施設のあり方にも関係する教育施設のあり方についての議論を継続することは、保護者、町民、議会ともに異論はないものと思います。併せて現時点での「くにみ学園基本構想（中間報告）」を基にした整備計画は一旦凍結します。

改めて仕切り直してゼロベースから広く町民の声に耳を傾け、行政、保護者、町民、議会が一体となった新たな枠組みによる検討を進め、その内容は必要に応じて「教育ビジョン」や「個別施設計画」に反映することとし、子育てと子どもたちの学びの質を向上させる施策につなげていくこととします。

議員活動報告

(令和5年3月議会から令和5年6月定例会前まで)

3月2日	3月定例会(～16日)	全議員
	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
3月3日	広報常任委員会	広報常任委員
3月8日	議案調査会(～9日、13日・14日)	全議員
3月9日	正副議長・委員長会議	正副議長、各常任委員長
	全員協議会	全議員
3月16日	議会運営委員会	正副議長、議会運営委員
	全員協議会	全議員
3月20日	故阿部泰蔵様に対する叙位伝達式	議長
3月23日	広報常任委員会	広報常任委員
	全員協議会	全議員
3月24日	阿武隈川流域下水道県北浄化センター環境保全協議会	議員4名
3月27日	伊達地方消防組合議会定例会	組合議員
	伊達郡町村議会議長会議(福島市)	正副議長
3月28日	伊達地方衛生処理組合議会定例会	組合議員
3月29日	例月出納検査	監査委員
	教職員離任式	議長
	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)	議長
	全員協議会	全議員
3月30日	広報常任委員会	広報常任委員
	公立藤田総合病院組合議会定例会	組合議員
3月31日	退職辞令交付式	議長
4月3日	異動・新規採用職員辞令交付式	議長
	教職員着任式	議長
4月7日	議会運営委員会	正副議長、議会運営委員
	全員協議会	全議員
	令和5年第2回臨時会	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
4月13日	町内会長連絡協議会総会	議長
4月14日	産業建設常任委員会行政視察(大玉村)	産業建設常任委員
4月15日	町体育協会総会	議長
4月19日	伊達郡町村議会議長会議(福島市)	正副議長

4月21日	議員懇談会	全議員
	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
4月22日	議会報告懇談会	全議員
4月23日	町長杯スポーツ大会総合開会式	議長
	郷土史研究会総会	議長
4月24日	福島圏域議会議長連携推進協議会(福島市)	議長
4月25日	例月出納検査	監査委員
4月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)	議長
	寿クラブ連合会総会	副議長
4月27日	健康推進員協議会総会	議長
4月28日	赤十字奉仕団役員会	議長
5月3日	春の藤原まつり(平泉町)	議長
5月12日	文化団体連絡協議会総会	議長
5月13日	町駅伝部総会	議長
5月16日	伊達地方消防組合議会臨時会(伊達市)	組合議員
	福島地方土地開発公社国見町評議員会	評議員
5月17日	議会運営委員会	正副議長、議会運営委員
	全員協議会	全議員
	令和5年第3回臨時会	全議員
	議員懇談会	全議員
5月19日	国見町商工会第64回通常総会	議長
5月22日	国見町青少年健全育成町民会議総会	議長
5月23日	全国町村議会議長会正副議長研修会(～24日)	議長
5月29日	当選証書付与式	議長
	故高橋豊壽様に対する叙勲伝達式	議長
	伊達郡町村議会議長会議(福島市)	正副議長
5月31日	例月出納検査	監査委員
6月1日	義経まつり実行委員会	議長
6月5日	福島県町村議会議長会定期総会(福島市)	議長
6月11日	福島県消防協会伊達支部幹部大会(伊達市)	議長
6月18日	消防団定期点検	全議員
6月19日	議員懇談会	全議員

傍聴者からの 声



6月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんのご意見をいただきました。(抜粋)

- 新人議員をはじめ、4年間頑張ってください。
(年齢不明・女性)
- 議会の開始の流れ(選挙後初の議会の進行)を見ることができた。
(20代・女性)
- 無投票選挙が続いているが、もっと行政に関心を持ち、町のために働いてみたいと思う人が出るような魅力ある議会になってほしい。
(60代・女性)
- 傍聴席が満席に近く、町政への関心の高さを感じた。
(40代・女性)
- マスク着用により声がこもり聞きにくい。答弁の時はマスクを外しても良いと思う。
(80代・男性)
- とても活発な意見が交わされ、より良いまちづくりに向け議員・職員・町民みんながかかわっていると思った。現役世代や子育て世代がどんな町を願っていたり、どんな町なら移住・定住・子育てできるか、20代～50代中心の若者議会があっても良いと思った。
(40代・女性)
- なぜ全議員が一般質問をしないのですか。残り時間がもったいない。時間いっぱいやってほしい。
(60代・男性)
- 少子化対策等の先進事例、例えば、出生率2.95まで回復した岡山県奈義町等の事例を参考にしてください。
(70代・男性)
- 議論を深め、活発なやりとりをする観点からは、通告書から多少離れた質問でもさえがらずに質問を続けたほうが良いのではないかと。
(50代・女性)
- 人口減少が進行する中、議員定数削減の議論はないのか？
(70代・男性)
- 事前に職員に確認すれば良い内容の質問が多い。議員と町側のコミュニケーションの少なさが分かった。
(70代・男性)
- くにみ学園構想という先の話の前に、やるべきことがあるはず。
(70代・男性)

歴史を身近に

17歳で故郷を離れ、昨年およそ50年振りに帰ってきた。年に1、2回は帰っていたが、今後はここで余生を送ろうと思う。

同じ町内会の、安孫子正さんが管理している近くの「山の神」神社を、友人を誘って久し振りに訪れた。1632年に安孫子一族により創建されたもので安産・子育ての神様として地域の信仰を集めてきた。毎年4月12日にお祭りがあり賑わってきた。神社は公道から約100メートル入ったところにあり、木立に囲まれひっそりと佇んでいる。建物は歴史の重みを感じさせ思わず手を合わせたくなる。



鈴木忠夫さん

(泉田上 町内会)

このような所は地域の人たちでなければ分からないのではないかと。参道を整備し沿道に花などを植えたなら多くの人が訪れるかもしれない。国見町には他にも地域の人もあまり知らない埋もれた歴史物があると思う。町はそういう所をもっとPRしたい。

私が歴史に興味を持ち始めたのは、鎌倉を訪れたのがきっかけである。和歌山県の藤白神社では偶然にも私の姓（鈴木）の起源の資料を見つけた。それ以来、仙台伊達藩や源義経の系譜を調べていくうちに色々なことが分かり、興味が尽きないものとなった。

改めて考えてみると、今、自分がこうしてあるのも世の中も全て過去から繋がっているのだ。当たり前のことなのだが、意識することで見方・考え方が変わってくると思う。町の郷土史研究会にも入会させていただいた。今後、歴史を身近なものとして感じていきたい。

町の発展に向けて議会が結束

伊達郡町議会議員大会

7月21日、国見町、桑折町、川俣町の伊達郡内3町の議会議員による第18回伊達郡町議会議員大会が桑折町多目的スタジオ「イコーゼ！」で開催された。

大会では、3町議会から国、県など関係機関へ提出する要望事項5件と、大会決議・特別決議が採択されました。国見町の要望事項、大会の決議・特別決議の内容は以下のとおりです。

【国見町】

- 一般国道4号伊達拡幅整備促進及び橋梁修繕に係る財政支援並びに県道五十沢・国見線の歩道設置について

【桑折町・国見町】

- 公立藤田総合病院の常勤医師及び全体的に不足している看護師の確保など、地域医療の確保について

【決議・特別決議】

- 東京電力福島第一原子力発電所事故への対応に関し、被災地域の一日も早い復興・再生と原発事故の早期收拾に向け、国は自らの責任のもとに、問題解決のため特段の措置を講ずるよう強く要請する。



要望事項を説明する
小林議員(写真左)

編集後記

国見町議会は6月27日より新たな構成となり、広報常任委員会も新メンバーでスタートいたしました。

今後は、「守破離」の精神を忘れず、基盤を守り・型を破り応用し・創意工夫を加えながら、町民の皆さまから手に取って見て読んで頂ける、議会だよりを発行してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

また、新メンバーの半数が新人および2期目の委員ですので、様々な研修や他市町村議会の広報紙についても勉強し、より良い議会だよりの発行に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申しあげ、新メンバーを代表して挨拶させていただきます。

発行責任者

議長

広報常任委員会

委員長
副委員長
委員

同 同 同



佐藤 定男
蒲倉 孝
佐藤 多真恵
佐藤 定男
松浦 常雄
佐藤 孝
菊地 勝芳